

自治体所管データの活用施策分析

中村英人, 上西研, ○石野洋子 (山口大学)

Strategy and Analysis in Using Local Government's Data

H. Nakamura, K. Kaminishi, and * Y. Ishino (Yamaguchi University)

概要— 近年、オープンデータへの取組をはじめとした公共データの活用による地域の課題解決が注目を集めている。本研究では、“データ活用による地域活性化”の可能性に着目し、先進自治体におけるデータ活用の具体的内容の調査を実施した。この調査結果を踏まえ、地方公共団体が所管する公共データの種類や性質の特徴から、どのような公共データの利活用が地域活性化につながりやすいのかを考察する。

キーワード: 地方公共団体, 公共データ, 地域活性化

1 はじめに

近年のデータ活用では、いわゆるオープンデータとビッグデータに特に注目が集まっており、地方公共団体においてもその傾向は同様である。なお、オープンデータとは、(i)機械判読に適したデータ形式で、(ii)二次利用が可能な利用ルールで公開されたデータである¹⁾。また、ビッグデータとは、(i) Volume (サイズおよび数における大規模性)、(ii) Variety (データの多様性)、(iii) Velocity (処理のリアルタイム性)の「3つのV」に特徴付けられるデータと一般的には定義されている²⁾。

本研究では、“オープンデータやビッグデータ活用による地域活性化”の可能性を調べることを目的とし、現在、地方自治体はどのようなデータを所有しているのかをひとつの県庁を事例に量的に把握し、そのうえで、先進的な取組を行っているいくつかの地方自治体の具体的な活用内容を質的に調査した。これらの調査結果を踏まえ、地方公共団体が所管する公共データの種類や性質の特徴から、どのような公共データの利活用が地域活性化につながりやすいのかを考察する。

2 調査方法

二段階の調査を行った。最初に、ある地方公共団体(県庁)の所管するデータ種別について現状分析を実施した。次に、先進自治体におけるデータ活用の具体的内容を知るために、インタビュー調査を実施した。

● 地方公共団体所管データの現状分析

Y県を取り上げ、所管するデータの現状分析を行った。調査は2015年5月に実施された。調査対象は、Y県のホームページ公開情報を中心とした。

● 先進自治体の事例調査

オープンデータ化への先進的な取り組みを公表している6団体へのインタビュー調査を行った。調査対象のうち1団体(県)は電話調査だったが、それ以外は、平成27年9月4日～9月29日に担当者を直接訪問し、聞き取りを実施した。また、この調査を補完するために文献調査を行い、ビッグデータの具体的な活用を行っていた3団体を選び、内容を精査した。

3 調査結果

(1) Y県庁所管データの現状分析

Y県がホームページで公開している統計は、153種別になるが、それら統計を所管(公開)する部署は56所

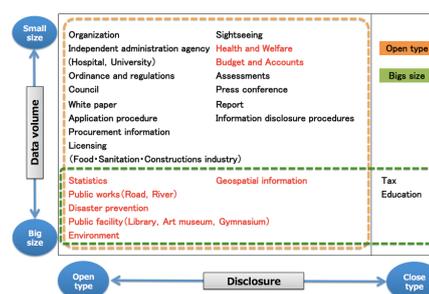


Fig. 1: Data classification of the prefectural government

属にまたがっていた。統計データは、ホームページ内にそれを取りまとめるポータルサイトが作成されていたが、その他の多くのデータは、所管部門の各ページに散在していた。このため、サイトマップを参考に、主なデータ種別として23の公開データ分野を設定した。その上で、ホームページを中心に主な所管データを整理した。最後に、その結果を“量(ビッグ or スモール)”および“公開方式(オープン or クローズ)”の2軸で分類した(Fig. 1)。

その結果、ビッグ×オープンのカテゴリーにニーズの集中が見られた(ただし、厳密にビッグデータの定義にあてはまるものは、防災の気象情報と土木管理の河川の水位情報しかなかったため、比較的量が大きいデータを便宜的にビッグデータと呼んでいる)。地方公共団体が所管する“ビッグデータ”は、民間事業者のビッグデータより格段にデータ量が少ない。政策立案に活用するには、このことを認識する必要がある。

(2) 先進自治体の事例調査(9自治体)

インタビューおよび文献調査の結果、現時点のデータ活用で最も多くみられた事例は、データをGIS(地理情報システム)と組み合わせて利用するものであった。典型的な例には、防災等の情報をわかりやすく提供する試み等があった。次に多かったのは、データ活用のアイデアを引き出すための、アイデアソンやハッカソン等のイベント開催であった。オープンデータの普及取り組みに合わせて開催する例が目立っていた。

参考文献

- 1) http://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/ictseisaku/ictriyou/opendata/opendata01.html (2017年9月17日)
- 2) 藤井秀明, 原口弘志, et al.: ビッグデータ時代における情報の巨大集積化・並列分散処理に関する研究開発動向, コンピュータソフトウェア, 30-1, 130/151 (2013)